

2025年度 【児童デイサービスともいき】自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 所見、工夫している点など | 保護者様からのご意見・ご要望 |
|--------------|--|--------|----|-----------|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | | 通所生活介護の一部スペースを共有フロアとし、時間帯を分けるほかパネルで区分けて過ごして頂いています。職員配置は、一部、通所生活介護との兼任となりますが、時間に応じた人員配置を行い、支援に満足度が低いように工夫を行っていきます。また、注意を必要とする箇所には、お子様が解るようポスターを貼るほか、毎回声掛けを行っていきます。 | コロナ禍が過ぎ、お子様が過ごしている環境を見て頂く事が可能となりました。実際の活動場面等をご覧いただく機会は万全ではありませんが、おおむね「はい」の回答を頂いています。 |
| | ② 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | | | |
| | ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | | | |
| 業務改善 | ④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | | ○ | | | 業務改善につき、職員個人のほか、法人各部署にて行っています。今後も、支援の質を向上させる為に、振り返りの機会を増やすよう努めてまいります。 | — |
| | ⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | | 頂いている回答については精査し、支援の向上につなげられるよう努めてまいります。 | — |
| | ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | | 毎年度、法人ホームページにてスタッフ向け・保護者様向けを合わせて集計し、情報を公開しています。 | — |
| | ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | | 第三者評価は行っていませんが、状況に合わせて実施する学校や他事業所（相談員等）との情報共有等により課題を確認しています。 | — |
| | ⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | | 法人として「虐待防止」や「感染症等予防研修」等を実施しています。また専門性を高める為の研修等に参加をしていきたいと思います。 | — |
| 適切な支援の提供 | ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ティーサービス計画を作成しているか | ○ | | | | 個別支援計画に基づき日々の支援を記録・共有し実践を行っていく中で、支援の標準化と次の目標に向けての検討を実施しています。 | アセスメントについては、「日常の困り事や要望を、支援内容に反映させてくれている」との意見もあり、おおむね「はい」の回答を頂いています。 |
| | ⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | | また、主治医からの許可が頂ければ、発達検査や知能検査を行いアセスメントとして活用することが可能です。 | |
| | ⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか | | ○ | | | 児童支援スタッフにて表現力や想像力を育むプログラムを検討、立案し運動系、音楽系、お楽しみなどに振り分けて実施できるようにしています。また、定番のプログラムを急に変えるのではなく、少しのアレンジを加えるなどマネリ化を防止しています。一方、個別支援では、アセスメント後に個々のニーズに合わせてプログラムを組んでいます。 | 活動プログラムについては、おおむね「はい」の回答を頂いています。「子どもの新たな興味を引きだしてくれている」という意見も頂いています。 |
| | ⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | | | |
| 適切な支援の提供 | ⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | | 各時間に応じて、お子様の集中度合いも加味しながら支援を行っています。 | — |
| | ⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ティーサービス計画を作成しているか | | ○ | | | 集団で行う活動と個人で行う活動は、支援計画に基づき毎回実施しています。 | — |
| | ⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | | 基本的に支援の開始前に申し送りを行い、前日の課題点や共有しておきたい事柄などをスタッフ間で共有しています。中・長期的視点が必要な事柄については別途、会議や児発管からの提案・指示により課題解決への取り組みを行っています。 | — |
| | ⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | | | — |
| | ⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | | 来所中の様子、個別支援・専門的支援・子どもサポート支援の内容を詳細に記載することで共通認識を徹底し検証・改善を行っていきます。 | — |
| | ⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等ティーサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | | 年2回のケア会議開催により、お子様の支援目標についての振り返りと達成度確認、必要に応じた見直しを実施しています。 | ケア会議実施に伴い、ご足労頂き感謝しております。引き続きのご協力をよろしくお願ひ致します。 |
| | ⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ | | | | 自指すべき方向性についてスタッフ間では無いかなど、部署での会議や日々の申し送りの中で共有を図っています。また、支援内容においては、こども家庭庁によるガイドラインに則り、5領域を網羅するようにしています。 | — |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ 脅害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | | ○ | | | サービス担当者会議には児発管が参加し、学校など関係者との情報共有や課題解決に向けた取り組みなどを共有しています。 | — |
| | ㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | | ○ | | | 連絡ノートにて学校・保護者様との情報共有を行っています。緊急的な時間変更やお子様の休みの連絡等については電話連絡で確認を行っています。また、送迎サービスを利用していない方には、保護者様を介在した連絡調整を密に行っていきます。 | — |
| | ㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | | | 今年度は医療的ケアが必要なお子様の利用はありませんでしたが、要望があった際には速やかに対応できるように努めます。 | — |
| | ㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | | 個々の課題解決に向けた情報収集が必要だと感じております。今後、関係各機関との情報共有を万全にすべく善処していきます。 | — |

| | | | | | |
|--------------|--|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | ㉔ 学校を卒業し、放課後等ティーサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | お子様の進路決定がなされた際には、進路先の事業所等の求めに応じて、必要な情報提供を行ってまいります。 | — |
| | ㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | ○ | 今年度途中から児発管が交代した為、専門的な研修には参加できておりませんが、研修等には積極的に参加していきたいと考えております。また、発達の遅れが気になるお子様については、埼玉県発達障害総合支援センター主催の合同事例検討会にて医師より助言を受けています。 | — |
| | ㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | 感染予防対策の観点から、他事業所等との交流は控えておりますが、対策を講じた上で機会設定は検討していきたいと思います。 | 保護者様からは交流の必要性についてあまりご意見を頂いてはおりませんが、「外部の児童との関わりは必要である」といった意見も見られました。 |
| | ㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | 法人の相談支援専門員が地域自立支援協議会への参加をしておりますが、その内容確認は十分ではないと感じております。今後、連携を強化していきたいと思います。 | — |
| | ㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | ペアレントトレーニングとは銘打っていますが、連絡ノートや送り迎えの際に、日々の状況確認のほか心配事に対する助言などを、保護者様と話すよう意識的に行っております。支援計画以外での課題や共有すべき事項については、速やかに対応できるよう児発管としてスタッフへ発信を行っています。 | 保護者様と支援者の共通理解については、「子育てにおける助言が子どもの成長に役立っている」との意見もあり、おおむね「はい」の回答を頂いています。 |
| | ㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | ○ | | — |
| | ㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 契約時に、重要事項の説明と合わせて実施し、規定更新時はその都度説明を行っています。 | すべて「はい」の回答を頂いています。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | 利用時の連絡ノートや、送り迎えの際に保護者様との対話を図るようにしています。適時、最適な助言等ができるようこれからも研鑽して行きたいと思います。 | 「病院受診後の報告や困りごとにに対して親身に話を聞いてもらえた」といったご意見もあり、おおむね「はい」の回答を頂いております。 |
| | ㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | 現時点で保護者様からのご要望としては頂いておりませんが、求めがあった際は支援・対応について速やかに検討していきたいと思います。 | — |
| | ㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | | ○ | 法人として要望・苦情についての窓口を設置しております。また、普段から保護者様との対話を行って活動や利用時の様子をお伝えすることで、安心感を持って頂けるように致します。 | おおむね「はい」の回答を頂いております。ケア会議などに頂くご要望について、順次取り組みを行い改善に努めてまいります。 |
| | ㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 現在、季刊で会報を発行できるよう体制を整備しておりますが、行事等の案内については別途用紙を作成して発信しております。 | おおむね「はい」の回答を頂いております。活動概要、行事予定などの情報は、現時点では会報等ではなく通所時や、連絡帳、電話連絡にて得ていると認識しているとのことです。 |
| | ㉟ 個人情報に十分注意しているか | ○ | | 契約時に個人情報の取り扱いについては確認を行っております。また、個人情報を取り扱う場合には適時保護者への確認を行っています。 | すべて「はい」の回答を頂いております。 |
| | ㉛ 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | お子様に対しては、コミュニケーションの取り方ににつき、個々の支援方法を把握し対応できるよう全スタッフで共有しております。 | すべて「はい」の回答を頂いております。「成長過程や今後の課題などを共有できることが有難い」との意見を頂きました。 |
| | ㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | 年1回、法人全体にて地域の皆様に来て頂けるイベントを開催しております。 | — |
| 非常時等の対応 | ㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | 各種感染症対策マニュアルの作成と周知、他、研修を実施しております。緊急時対応についても法人全体で対応ができるよう全スタッフに周知しています。 | 対策を講じながら可能な限り休所せずに実施できるよう図っていきたいと考えております。引き続き皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。 |
| | ㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 避難訓練については、日中の実施となっているものを年1回行っておりますが、児童支援独自で、災害時の対応方法などを検討、スタッフへの周知を行っていきます。 | 法人における避難訓練実施について、知らない保護者様も見られました。 |
| | ㉞ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 法人全体で、虐待防止研修を年2回実施しております。研修については、講義のみではなく事例研究やロールプレイ、ディスカッションを交えた実践的なものとなっています。身体拘束については対象となるお子様はありませんが、危険防止の観点と合わせて説明、同意を得られるよう対応していきます。 | — |
| | ㉞ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ティーサービス計画に記載しているか | ○ | | 法人全体で、身体拘束についての説明と理解を図るために、毎月の会議で実践的な事例を共有し、実践的な対応法を学んでいます。 | — |
| | ㉞ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | 今年度も、食物アレルギーのあるお子様はおりませんでしたが、適時、管理栄養士、看護師との連携を図り対応していきます。 | — |
| | ㉞ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | ○ | 法人全体で、ヒヤリハットの3種類で集計と分析を行っています。また、KYTをはじめとする注意喚起も行っています。 | — |
| | ㉞ お子様は通所を楽しみにされていますか? | ○ | | — | すべて「はい」の回答を頂いています。今後も活動内容等、お子様が楽しむプログラムの提供を目指していきたいと思います。 |
| 家族満足度 | ㉞ 事業所の支援に満足されていますか? | ○ | | — | すべて「はい」の回答を頂いています。「通い始めてからの成長は驚くほどで、適格な助言により親が前を向くことができました」といった意見を頂いています。常にスタッフの支援が適切であるかを見直して満足度の高いサービス提供を行っていきたいと思います。 |